



先月六日に、京都東寺の僧侶が沖繩に集結し、柴燈護摩供火生三昧（火渡り行）を聖現寺（那覇市上之屋）で厳修しました。道具や護摩檀を大規模に用意し、圧巻の迫力でした。沖繩ではなかなか経験出来ない事で、すごく勉強になりました。やっぱり、火は良いなあ（笑）

感謝

良啓

先月末を以て、長年勤めていた桜坂市民大学の講座が終わりまりました。手元の資料を見ると、二〇〇八年七月十日に第一回講座をしています。あれから十一年、副住職だった私は住職になり、小さかった長男坊が中学三年生です。時が経つのは速いものです。

実は、講師をする事になった逸話があります。元々映画が好きなのは、お寺で上映会を計画しました。しかし、作品や機材の調達、告知方法が分からず、餅は餅屋に聞け！とばかりに桜坂劇場に電話しました。面識もなく、ド素人の電話に親切に対応してくださいましたが、残念ながら実現はしませんでした。ところが、後日その対応された方から連絡があり、市民大学の講師オファーを受けました。当時三十代前半の若僧でしたので、他の先輩僧侶を差し置いて、出来ませんと断りました。しかし、若い坊さんだからこそ出来る話もあるのでは？と上手く説得され、講壇に立つ事にしました。それからは勉強の日々でした。法事と違い、受講生は仏教に飢えた狼です。勉強したくて、もっと仏教を知りたい、貴重な木曜日の朝九十分間を私に預けています。お互いが真剣勝負でした。ノーガード打ち合いです。そのお陰様で、どの様な相手でも、どれだけ想定外の質問でも笑顔で対応できるようになりました。正に菩薩行でした。

最後に受講生の皆様、市民大学の担当者様、本当にお世話になりました。先生にさせて頂き、誠にありがとうございました。



ごあいさつ

拝啓 春暖の候 皆様にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

私事で大変恐縮ですが、一身上の都合により三月末をもちまして神宮寺を退山させていただくことになりました。

入山中は公私ともに格別のご厚情を賜り、心から御礼申し上げます。

社会経験もありませんまま十九才で僧侶になった私ですが、十一年間法務を通じて様々な出会いや別れがあり、喜び、悲しみ、人として成長させていただきました。

神宮寺で得た貴重な経験を生かし、これからの人生を歩んでいきたいと思っております。

末筆ではございますが、神宮寺にご縁ある皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

略儀ながら書面にて御礼かたがた退職の挨拶とさせていただきます。

敬具

平成三十一年三月

金城 裕俊

